

# 大阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略 平成29年度効果検証

---

平成30年9月

# 目次

---

- |   |                               |     |
|---|-------------------------------|-----|
| 1 | 大阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略について        | P 3 |
| 2 | 大阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証手法について | P 7 |
| 3 | 施策の効果検証について                   | P12 |

# 1 大阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

---

2 大阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証手法について

3 施策の効果検証について

# 1 大阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

## 総合戦略の位置付け

- 大阪市のまち・ひと・しごと創生総合戦略は、まち・ひと・しごと創生法に基づき、大阪市人口ビジョンを踏まえ、大阪市の「まち・ひと・しごと創生」に向けた目標や施策の基本的方向、具体的な施策をとりまとめたものです。
- 戦略の対象期間は、平成27(2015)年度から平成31(2019)年度までの5年間としています。

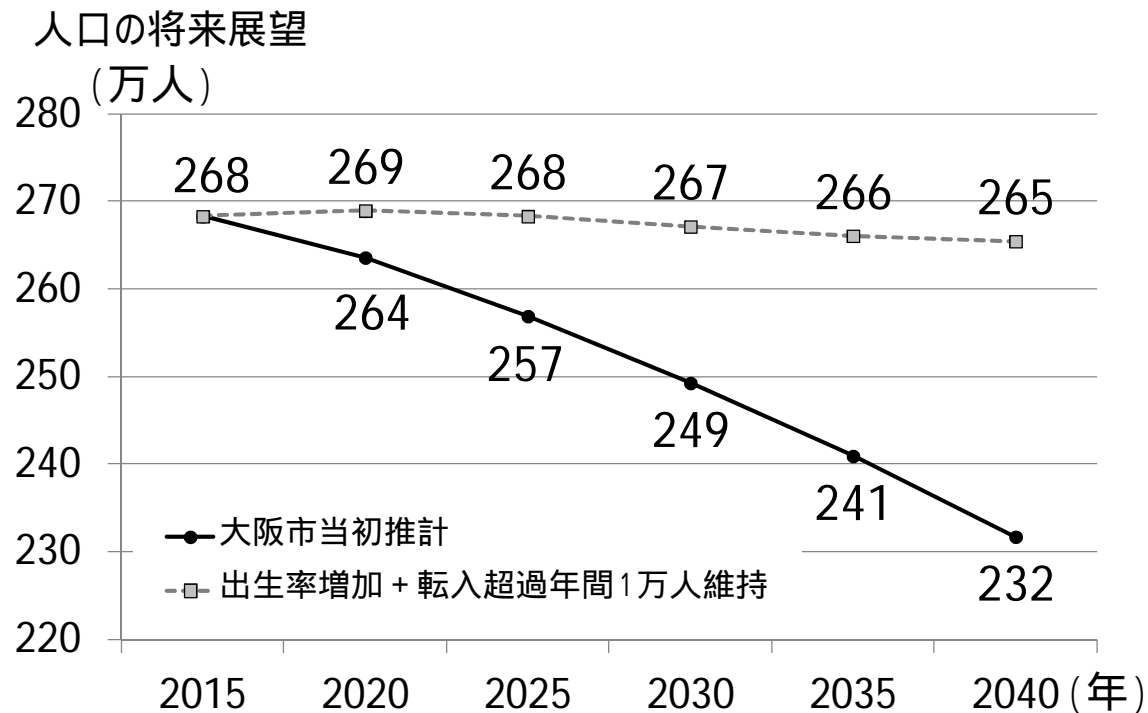
## 認識

- 2010年に267万人であった本市の人口は、今後、減少に転じ、このまま推移すれば2040年には232万人まで減少と推計されており、また、2010年に22.7%であった高齢化率は、2040年には33.6%に高まり、市民の3人に1人が高齢者になると見込まれています。
- 人口減少・高齢化の更なる進展は、社会全体の活力低下を招くことが懸念される、先延ばしのできない大きな課題であることから、速やかな対応が求められます。

# 1 大阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

## 展望

- 出生率が大幅に増加し、現状の人口流入規模（年間1万人）が維持できれば、人口の減少に歯止めがかかり、大阪の活力を維持していくことが可能となります。
- 人口減少に対する特效薬はありませんが、中長期的な視点から、適切な対応を速やかに講じる必要があります。



(出典：大阪市人口ビジョン 平成28年3月)  
出生率が増加するとともに、転入超過数が年間1万人で維持された場合の将来展望

## 総合戦略の方向性・基本目標

- このような展望のもと、総合戦略では、次のとおり、4つの方向性を定め、3つの基本目標を設定し、施策を総合的・継続的に推進していくこととしています。

# 1 大阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

## 総合戦略の方向性・基本目標

### 総合戦略の方向性

東京と並び日本をけん引する第二極として国内外からひと・モノ・カネ・情報が集まる魅力と活力あふれる大阪の実現

現役世代、とりわけ若者・女性の活躍促進及び子育て・教育環境の充実と、出生率の増加

誰もが健康でいきいきと安心して暮らし続けられる地域づくり

地域団体、市民、NPO、企業など多様な活動主体との連携・分担

### 施策の柱立て

基本目標 魅力と活力あふれる大阪をつくる

大阪経済の活性化  
都市魅力の創造・発信

#### 数値目標

実質成長率、  
来阪外国人数、  
東京圏への転出超過人口

基本目標 若者・女性が活躍できる社会をつくる

就労支援と雇用の促進  
女性の活躍促進  
すべての子どもの成長を社会全体で支える  
仕組みの充実  
子どもや保護者の期待に応える学校づくり

#### 数値目標

合計特殊出生率、  
保育所等利用保留児童数、  
若者の就業率、  
女性の就業率

基本目標 健康で安心して暮らし続けられる地域をつくる

市民生活の安全・安心の確保  
地域の実情に即した特色ある施策の展開  
と地域コミュニティの活性化

#### 数値目標

健康寿命、  
街頭犯罪5手口（ひったくり  
など）の発生件数

1 大阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

## **2 大阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証手法について**

---

3 施策の効果検証について

## 2 大阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について

### 効果検証の趣旨

- 総合戦略に示した施策を総合的・継続的に推進していくためには、施策の進捗状況について成果や課題を分析し、必要な改善や見直しを図っていくため、PDCAサイクルを確立することが必要です。



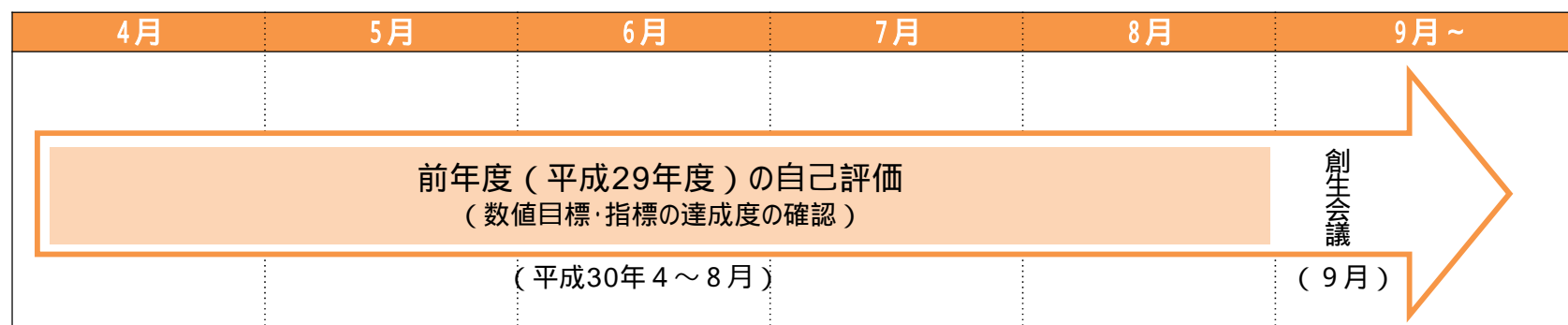


## 2 大阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について

### 効果検証の手順

- 総合戦略においては、各政策分野ごとに、5年間の基本目標とその数値目標を、また、政策分野の下の具体的施策・事業については、指標（重要業績評価指標（KPI）Key Performance Indicators）を設定して、毎年度効果を検証し、必要に応じて総合戦略を改訂することとしています。
- 効果検証の具体的な手順として、大阪市内部で施策の進捗状況を確認・検証し、今後の対応方向の整理を行う自己評価を実施します。

平成29年度効果検証のスケジュール



なお、平成28年度効果検証（平成29年8月実施）については、平成27年3月の戦略策定後、初めての効果検証であったことから、自己評価の手法及びその結果の妥当性・客観性を担保するため、外部有識者等への意見聴取を実施しました。平成29年度効果検証については、効果検証の2年目であること、また、各所属の施策に関しては、審議会等において外部有識者から意見を聴取していることから、別途総合戦略として外部有識者等への意見聴取は実施していません。

## 2 大阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について

### 評価の基本的な考え方

#### 基本目標の評価

- 基本目標にかかる数値目標の実績値に対する評価を行い、具体的な施策の進捗状況等を踏まえ、基本目標に対する総括評価を行います。

#### 基本目標（数値目標）の評価基準

凡例		基準
	A	目標達成（最新の実績値で目標を達成しており、更なる高みをめざし、目標を再設定）
	B	目標達成（最新の実績値で目標を達成しており、引き続き目標達成できるよう着実に推進）
		順調に推移しており、目標年次には目標達成する見込み（引き続き目標達成に向けて着実に推進）
		現状のままでは目標年次において目標達成できない可能性（目標達成に向けて更なる取組みが必要）
	A	未達成（最新の実績値で目標が未達成であり、更なる取組みが必要）
	B	未達成（最新の実績値で目標が未達成であり、取組内容を再構築し目標を再設定）
—		未測定（現時点で評価困難）

平成29年度効果検証から、「」（目標を達成したもの）と「」（目標を達成できなかったもの）について、指標を細分化し、今後の対応方針を明確化しました。

## 2 大阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について

### 具体的な施策の評価

- 具体的な施策ごとに、KPIの目標値に対する最新の実績値や主な取組み・成果等を踏まえ、施策の進捗状況を評価します。

#### 具体的な施策の進捗状況の評価

凡例	基準
順調	総合的に見て施策の進捗状況が順調なもの
概ね順調	総合的に見て施策の進捗状況が概ね順調なもの
やや遅れ	総合的に見て施策の進捗状況がやや遅れているもの
遅れ	総合的に見て施策の進捗状況が遅れているもの

#### KPIの目標値の評価

凡例	基準
	A 目標達成(最新の実績値で目標を達成しており、更なる高みをめざし目標を再設定)
	B 目標達成(最新の実績値で目標を達成しており、引き続き目標達成できるよう着実に推進)
	順調に推移しており、目標年次には目標達成する見込み(引き続き目標達成に向けて着実に推進)
	現状のままでは目標年次において目標達成できない可能性(目標達成に向けて更なる取組みが必要)
	A 未達成(最新の実績値で目標が未達成であり、更なる取組みが必要)
	B 未達成(最新の実績値で目標が未達成であり、取組内容を再構築し目標を再設定)
—	未測定(現時点で評価困難)

1 大阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

2 大阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証手法について

### **3 施策の効果検証について**

---

## 3 施策の効果検証について

### 基本目標 魅力と活力あふれる大阪をつくる

- 産業・文化の集積など大阪・関西が持つ強みに磨きをかけるとともにアジアの成長力を取り込むことで、国内外からヒト・モノ・カネ・情報が集まる魅力あふれる大阪を実現します。
- 新たな基幹産業となり得る観光産業の振興など成長分野の産業振興やイノベーションを生み出す取組みを進めるとともに、超高齢社会において医療・健康サービスの向上につながる関連産業の振興を図ることにより、生産性を高め、新しい価値を創出する都市をめざします。

### 評価総括

直近の実績値で数値目標を達成しており、具体的な施策の進捗状況についても、一部にやや遅れがある施策も見られますが、総じて順調に進捗しているといえることから、基本目標の実現に向けて着実に推進していると評価することができます。

#### ■ 数値目標

##### < 実質成長率 >

- 平成28年度早期推計は + 2.3% で目標達成
- ただし、この指標は国内外の景気動向に左右されやすく、年度ごとに大きく変動するものであることから、引き続き、更なる成長を促すための取組みを続けていく必要がある

##### < 来阪外国人旅行者数 >

- 平成29年は1,110万人と平成28年の940万人から着実に増加
- 目標の1,300万人(平成32年)達成に向けて順調に推移

##### < 東京圏への転出超過人口 >

- 平成29年は3,444人で平成26年の3,445人を下回っており目標達成
- ただし、継続的に東京圏への人口転出超過を是正するためには、引き続き、各施策を着実に推進していく必要がある

#### ■ 具体的な施策の進捗状況

【順調...7施策、概ね順調...4施策、やや遅れ...1施策】

##### < 大阪経済の活性化 >

- 国際コンテナ戦略港湾の実現については、やや遅れが見られるものの、それ以外の施策については順調、概ね順調に推移
- 引き続き、大阪のビジネス環境の向上やイノベーション創出環境の構築、都市基盤の整備等を進めることにより、より一層、大阪経済の活性化が図られるよう取り組んでいく必要がある

##### < 都市魅力の創造・発信 >

- いずれの施策も順調、概ね順調に推移
- 引き続き、2025日本万国博覧会の誘致やIRを含む国際観光拠点、G20大阪サミットの開催支援等の積極的な取組みにより、都市魅力の向上と集客力強化に努め、地域・経済活性化につなげていく必要がある

### 3 施策の効果検証について

#### 数値目標（基本目標 魅力と活力あふれる大阪をつくる）

指標	目標値	実績値	最新の実績値に対する評価	
実質成長率	年平均2%以上 (毎年)	+2.3% (平成28年度早期推計) 平成27年度早期推計 +0.1% 平成26年度 -0.1 (確報値)	B	引き続き目標を達成 できるよう着実に推進
来阪外国人旅行者数	1,300万人 (平成32年)	1,110万人 (平成29年) (940万人(平成28年))		引き続き目標達成に 向けて着実に推進
東京圏への 転出超過人口	現状値(平成26年 3,445人) を下回る(毎年)	3,444人(平成29年) (3,388人(平成28年))	B	引き続き目標を達成 できるよう着実に推進

#### 具体的な施策の進捗状況（基本目標 魅力と活力あふれる大阪をつくる）

大阪経済の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪のビジネス環境の向上や大阪の強み・ポテンシャルのある分野等の成長促進【順調】</li> <li>・知的インフラの機能集積や継続的なイノベーション創出環境の構築【順調】</li> <li>・前向きに努力する中小企業に対する経営力・技術力強化に向けた支援【順調】</li> <li>・地域の実情や特性に応じた中小企業への支援【順調】</li> <li>・新たなエネルギー社会の構築【概ね順調】</li> <li>・うめきた2期開発促進【概ね順調】</li> <li>・高速道路ネットワークの充実【順調】</li> <li>・鉄道ネットワークの充実【概ね順調】</li> <li>・国際コンテナ戦略港湾の実現(集貨・創貨・競争力強化)【やや遅れ】</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>【順調: 7 施策】 【概ね順調: 4 施策】 【やや遅れ: 1 施策】</p> </div>
都市魅力の創造・発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光振興などの集客力強化の取組みによる地域・経済活性化【順調】</li> <li>・都市魅力関連施策等による大阪の魅力向上【順調】</li> <li>・空家等に関する対策の推進【概ね順調】</li> </ul>	

### 3 施策の効果検証について

#### 基本目標 若者・女性が活躍できる社会をつくる

- 若者・女性の就労を支援し経済的な基盤を安定させるとともに、企業と地域における女性の活躍を促進します。
- すべての子どもが等しく教育及び医療を受けられるよう取り組むとともに、子どもの安心・安全の確保や学力の向上、個性や才能を伸ばす取組みを進めるなど、子育て・教育環境の充実を図り、子どもの成長を社会全体で支えます。

#### 評価総括

直近の実績値だけを見ると数値目標の達成状況は芳しくないものの、具体的な施策の進捗状況を見ると、一部にやや遅れがある施策は見られますが、総じて順調に進捗しているといえることから、基本目標の実現に向けて着実に推進していると評価することができます。

#### ■ 数値目標

##### < 合計特殊出生率 >

- 平成28年は1.21で平成25年の1.21を上回れず目標未達成

##### < 保育所等利用保留児童数 >

- 平成29年度は保育所等施設整備等の取組みを進めた結果、4,745人分の入所枠を確保するなどにより、平成30年4月の厚生労働省定義の待機児童を65人とし、利用保留児童数は約500人減少と大きく前進しているが、解消には至らず
- この指標は、極めて高いレベルの目標であることに加え、都心回帰傾向等の社会動向等、その年ごとの保育ニーズの変化など外的要因に大きな影響を受けるものであるが、目標達成に向けて従来の手法にとられない特別な対策を含め、あらゆる取組みを推進していく必要がある

##### < 若者の就業率 >

- 全国平均を下回っているが、年々全国平均との差は縮小
- このペースで改善すれば平成31年に全国平均を上回る見込み

##### < 女性の就業率 >

- 全国平均を下回っているが年々全国平均との差は縮小
- ただし、このペースの改善では平成31年に全国平均を上回るとは困難なため、目標達成に向けて更なる取組みが必要である

#### ■ 具体的な施策の進捗状況

【順調...7施策、概ね順調...5施策、やや遅れ...2施策】

##### < 就労支援と雇用の促進 > < 女性の活躍促進 >

- いずれの施策も概ね順調に推移
- ただし、大阪の若者・女性の就業率は、依然として全国を下回っており、若者・女性が個性と能力を十分に発揮し活躍できる社会の充実に向け、多様な生き方・働き方を選択できる環境整備を推進していく必要がある

##### < すべての子どもの成長を社会全体で支える仕組みの充実 >

- 安全で安心な妊娠・出産・育児の継続的支援の充実についてはやや遅れが見られるものの、それ以外の施策については、順調、概ね順調に推移
- 引き続き、幼児教育の無償化や保育を必要とする全ての児童の入所枠の確保などの取組みにより、身近な地域で子育て家庭を支援できるよう、関係機関と連携し、きめ細かいニーズに対応した支援の充実を図っていく

##### < 子どもや保護者の期待に応える学校づくり >

- 学校教育の質の向上についてはやや遅れが見られるものの、それ以外の施策については、順調、概ね順調に推移
- 引き続き、全ての子どもたちが力強く生き抜き未来を切り拓く力を備えることができるよう、学力や道徳心・社会性、健康・体力の育成や教育環境の整備などを推進していく必要がある

### 3 施策の効果検証について

#### 数値目標（基本目標 若者・女性が活躍できる社会をつくる）

指標	目標値	実績値	最新の実績値に対する評価	
合計特殊出生率（ ）	現状値（平成25年 1.21）を上回る（毎年度）	1.21（平成28年） （1.26（平成27年））	A	目標達成に向けて更なる取組みが必要
保育所等利用保留児童数	解消 （平成30年4月）	2,503人 （平成30年4月） （2,989人（平成29年4月））	A	目標達成に向けて更なる取組みが必要
若者の就業率 （15～34歳）	全国平均を上回る （平成31年）	63.2%（平成29年） 全国:64.0% 61.5%（平成28年） 全国:63.5%		引き続き目標達成に向けて着実に推進
女性の就業率 （25～54歳）	全国平均を上回る （平成31年）	72.1%（平成29年） 全国:75.3% 70.6%（平成28年） 全国:73.9%		目標達成に向けて更なる取組みが必要

合計特殊出生率については、国勢調査年とそれ以外の年で算出方法が異なるため比較には注意が必要

#### 具体的な施策の進捗状況（基本目標 若者・女性が活躍できる社会をつくる）

就労支援と雇用の促進	・若者・女性への就労支援、 相談から就職までの支援をトータルで行う総合相談 【概ね順調】	<b>【順調：7施策】</b> <b>【概ね順調：5施策】</b> <b>【やや遅れ：2施策】</b>
女性の活躍促進	・企業における女性の活躍の促進 【概ね順調】 ・地域における女性の活躍の促進 【概ね順調】	
すべての子どもの成長を社会全体で支える仕組みの充実	・幼児教育の無償化 【順調】 ・安全で安心な妊娠・出産・育児の継続的支援の充実 【やや遅れ】 ・こどもの貧困対策の推進 【順調】 ・児童虐待防止体制の強化【順調】 ・子どもたちの学びたい意欲と子育て支援の応援 【順調】 ・子育て世帯等向け住宅施策の推進 【概ね順調】	
子どもや保護者の期待に応える学校づくり	・ICT学習環境を活用した教育の全市展開 【順調】 ・学力向上を図るための学習支援の充実・教育環境の整備・安心できる学校づくり 【順調】 ・カリキュラムのイノベーション 【順調】 ・学校教育の質の向上（マネジメント体制の強化）【やや遅れ】 ・学校図書館の活性化 【概ね順調】	



### 3 施策の効果検証について

#### 基本目標 健康で安心して暮らし続けられる地域をつくる

- 誰もがそれぞれの地域において、健康でいきいきと安心して暮らし続けられるよう、市民の健康づくりや安全・安心の確保に取り組みます。
- 地域の実情に即した特色ある施策を展開するとともに、多様な活動主体の自律的な取組みを支援し、地域コミュニティの活性化を図ります。

#### 評価総括

直近の実績値だけを見ると数値目標を達成できていない指標もありますが、具体的な施策の進捗状況を見ると、一部にやや遅れがある施策も見られるものの、総じて順調に進捗しているといえることから、基本目標の実現に向けて着実に推進していると評価することができます。

#### ■ 数値目標

##### < 健康寿命 >

- 健康寿命は着実に延びているものの、平均寿命の延びを上回ることはできず目標未達成
- 健康寿命の延伸は一朝一夕で実現するものではないことから、目標達成に向けて粘り強く各施策を推進していく必要がある

##### < 街頭犯罪5手口の発生件数 >

- 平成29年は7,211件で、平成27年の7,881件を下回り目標達成
- ただし、この指標は、社会情勢等、外的要因に左右されやすく、年ごとに大きく変動するものであることから、引き続き、街頭犯罪の減少に向けた取組みを着実に推進していく必要がある

#### ■ 具体的な施策の進捗状況

【順調... 2 施策、概ね順調... 5 施策、やや遅れ... 2 施策】

##### < 市民生活の安全・安心の確保 >

- いずれの施策も順調、概ね順調に推移
- ただし、健康寿命の延びは平均寿命の延びを上回ることができていないことから、更なる健康寿命の延伸を図るためには、大阪市健康増進計画に基づく各取組み等、市民の健康づくりに資する取組みをより一層進めていく必要がある
- また、住み慣れた地域で安心して元気に暮らせるよう、地域包括ケアシステムの構築や真に支援を必要とする人々のための取組みを進めるとともに、安全で安心できるまちの実現に向けて、大阪府警等との連携を密にし、防犯カメラの設置や防犯パトロール、客引き行為等の適正化に向けた取組みを一層強化する必要がある

##### < 地域の実情に即した特色ある施策の展開と地域コミュニティの活性化 >

- ICTなども含めたあらゆるチャネルを活用した「大きな公共」を支える担い手の拡大や、多様な市民や団体の連携・協働に向けた地域社会におけるネットワークづくりではやや遅れが見られ、より一層地域コミュニティの活性化が図られるよう取り組んでいく必要がある

### 3 施策の効果検証について

#### 数値目標（基本目標 健康で安心して暮らし続けられる地域をつくる）

指標	目標値	実績値	最新の実績値に対する評価	
健康寿命	平均寿命の伸びを上回る 健康寿命の伸び	健康寿命の伸び 男性 + 1.02歳 女性 + 0.77歳 平均寿命の伸び 男性 + 1.22歳 女性 + 1.01歳  【参考】平成22年 平成27年 健康寿命 男性76.12歳 77.14歳 健康寿命 女性81.86歳 82.63歳 平均寿命 男性77.65歳 78.87歳 平均寿命 女性85.38歳 86.39歳	A	目標達成に向けて 更なる取組みが必要
街頭犯罪5手口 （ひったくり・路上強盗・ 自動車盗・車上ねらい・ 部品ねらい）の発生件数	現状値（平成27年 7,881件 （暫定値））を下回る （毎年）	7,211件 （平成29年）	B	引き続き目標達成 できるよう着実に推進

#### 具体的な施策の進捗状況（基本目標 健康で安心して暮らし続けられる地域をつくる）

市民生活の 安全・安心の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣病の予防の推進【概ね順調】</li> <li>地域包括ケアシステムの構築【順調】</li> <li>真に支援を必要とする人々のための取組み【概ね順調】</li> <li>災害に強い防災・減災のまちづくり【 】</li> <li>地域の実情に適った街頭犯罪抑止対策の推進【概ね順調】</li> <li>空家等に関する対策の推進【順調】</li> </ul>	<p>【順調：2 施策】 【概ね順調：5 施策】 【やや遅れ：2 施策】</p>
地域の実情に即した特色ある 施策の展開と地域コミュニティ の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICTなども含めたあらゆるチャンネルを活用した「大きな公共」を支える担い手の拡大【やや遅れ】</li> <li>多様な市民や団体の連携・協働に向けた地域社会におけるネットワークづくり【やや遅れ】</li> <li>西成特区構想【概ね順調】</li> <li>地域の教育コミュニティの活性化【概ね順調】</li> </ul>	